

**令和5年度進行管理・評価シート**  
**津島市歴史的風致維持向上計画（令和2年3月24日認定）**  
（最終変更 令和6年5月10日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 良好な景観に資する施策との連携	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物保存・活用事業	.....	3~4
2 道路改良・道路美装化事業	.....	5
3 天王川公園整備事業	.....	6
4 歴史文化遺産案内板整備事業	.....	7
5 尾張津島天王祭保存・振興事業	.....	8
6 尾張津島秋まつり保存・振興事業	.....	9
7 歴史・文化学習事業	.....	10
8 茶の湯文化振興事業	.....	11
9 津島の歴史・文化魅力発信事業	.....	12~14
10 毛織物産業の普及促進事業	.....	15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用	.....	16
2 文化財の防犯・防災	.....	17
3 文化財の普及・啓発	.....	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 津島ですすから 4年ぶり「まつり」	.....	19
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光客入込客数の動向	.....	20

<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	21
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
歴史的風致維持向上計画の実施体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 市長公室シティプロモーション課、建設産業部都市計画課、教育委員会社会教育課の3課を事務局とし、各事業担当者と横断的に連携しながら庁内の実施体制を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

関連部署間での情報共有等を行うため、担当者会議を1回開催し、計画の推進についての情報共有や令和5年度事業の実施状況、令和6年度に向けた事業の確認を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

適正な計画の推進と事業の実施を図るため、引き続き定期的に担当者会議を開催していく。また、計画上の必要な手続について意識したうえで事業を実施し、変更等があれば早い段階から関係者間での情報共有に努める。

状況を示す写真や資料等

●津島市歴史的風致維持向上計画担当者会議

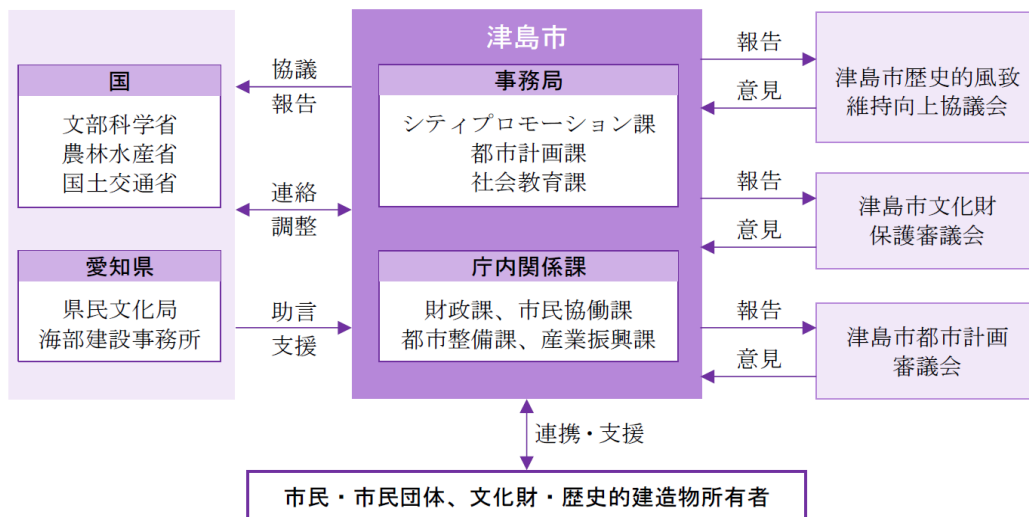
- ・開催日 令和6年2月14日
- ・開催場所 津島市役所
- ・出席者 シティプロモーション課、都市計画課マスタープラン推進室、都市整備課、産業振興課、社会教育課
- ・議題

- ①令和5年度実施事業の進行管理・評価について
- ②軽微な変更について
- ③情報共有(令和6年度以降の事業について)



津島市歴史的風致維持向上計画担当者会議

●計画の実施体制



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度
良好な景観に資する施策との連携		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 都市計画法や景観法などの制度を活用して、良好な景観の形成を図るため規制誘導の検討を行っていく。現在、本市では景観計画を策定していないが、歴史的風致維持向上計画と相乗効果的に関連付けながら策定を検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観行政事務を市独自で行えるように愛知県知事と協議を行い、令和5年8月1日、県下19番目の「景観行政団体(景観法第7条)」となった。  
 令和8年4月1日の公表を目標に景観計画の策定に向け、市民アンケート調査を行い、第1回目となるワークショップを開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 令和6年度は、市民意見を反映させた景観形成基準等を決めることが重要であることから、現地踏査やVR技術の活用を取り入れたワークショップを行う。また、市民だけでなく産業活性化にもつなげるため、地元商店街を対象としたものも行う。

状況を示す写真や資料等

【市民アンケート調査】

調査方法: アンケートを郵送及び市公式LINEにて実施

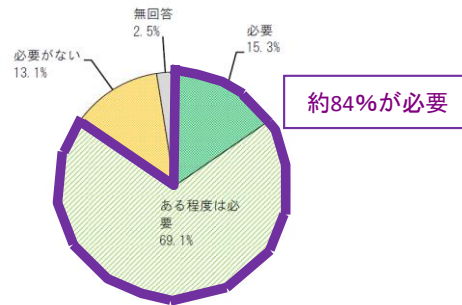
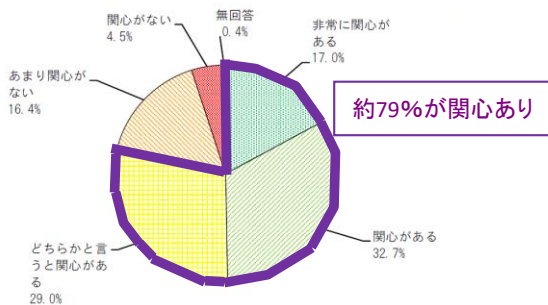
送付対象者: 市内在住1,500人

回答者数: 489人

アンケート回収431人(回収率: 28.7%)

津島市の町並みや自然などの風景に関心はありますか

津島市の良好な風景づくりのため、建築ルールを設けることについてどう思いますか?



【第1回「津島市の景観に関するワークショップ」】

開催日: 令和6年3月16日(土)

参加者数: 35名



**津島市の景観に関するワークショップ**

開催します!

津島市は、価値・個性あふれ、魅力ある景観が多くあります。津島らしい景観を守るための「津島市景観計画」をつくり、たくさんの人が入った景観にするため、「ワークショップ」を開催します。  
 「〇〇な町並みしたい」「〇〇な景色をりたい」と想っている方、「一緒に街を歩いたり、将来の景観を考えませんか?」津島市の町並みについて話し合いたい人であれば、誰でも参加できます。

MAP

■集会場所  
 旧いちい信用金庫天王通支店  
 (天王通り2丁目18)  
 ■開演時間(予定)  
 午後2時30分~4時30分  
 ※駐車場は満車になる場合がございますのでご注意ください。

ワークショップの開催予定

第1回 2024/3/16(土) 景観について、津島市の現状を知ろう!  
 第2回 2024/5/18(土) まちなかを歩いて今の景観を確認しよう! ~VRで体験!  
 第3回 2024/6/15(土) 街並み、どんな町並みにしたいか考えよう!  
 第4回 2024/8/3(土) 町並みを守り、話しかけたいルールを決めよう!  
 第5回 2024/1/19(土) みんなで考えた町並みの景観を届けてみよう!

■参加費無料  
 ■事前申込不要  
 ■興味のある話のみ参加可能  
 ■各回集会場所・時刻は同じ

公式LINEで情報収集しますので登録ください!  
 「まちづくり」に反応してください!

津島市 都市計画課 マスタープラン推進室  
 電話: 0567-55-8287 (直通)  
 メール: tsushima@tsushima.lg.jp

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物保存・活用事業①		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的建造物の維持・管理のほか、歴史的建造物内で尾張津島天王祭や尾張津島秋まつり等に関するものや季節ものの展示等を実施し、歴史的建造物の保存・活用を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
津島市観光交流センターについては、外トイレ内壁修繕を実施した。また、4月30日(日)に「山車出展」、6月1日(木)～7月30日(日)に「天王祭展」、7月8日(土)～20日(木)に「天王祭お囃子練習」、10月5日(木)～19日(木)に「天王祭絵画コンテスト」、9月17日(日)～28日(木)に「秋まつりお囃子練習」、9月1日(金)～10月4日(水)に「秋まつり展」等を開催、茶室を活用した抹茶体験を通年で実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	継続的な保存管理や修繕が必要である。		
状況を示す写真や資料等			
↓山車出展	↓天王祭お囃子練習		
			



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物保存・活用事業②		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物の維持・管理のほか、歴史的建造物内で尾張津島天王祭や尾張津島秋まつり等に関するものや季節ものの展示等を実施し、歴史的建造物の保存・活用を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧堀田家住宅については、通常の保存管理に加え、避雷針及び消防設備の修繕を行った。氷室作太夫家住居については、通常の保存管理に加え、雨漏りを防止するため、屋根にシートを掛けた。一般公開をしている旧堀田家住宅では、4月15日(土)～5月7日(日)に「近代津島の芸術家展」、7月8日(土)～8月27日(日)に「天王祭デザイン展」、2月3日(土)～3月10日(日)に「ひなまつり展」を開催した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない
 継続的な保存管理や修繕が必要である。また、個別文化財の保存活用計画の策定にあたり、市民のニーズ等も調査しながら進めていくことが求められている。

状況を示す写真や資料等



「近代津島の芸術家展」



「天王祭デザイン展」



「ひなまつり展」

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
道路改良・道路美装化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和6年度(2024)

支援事業名 都市構造再編集中支援事業

計画に記載している内容 津島神社や天王川公園へのアクセス向上や来訪者の回遊性を向上させるため、景観と調和した道路や小路の美装化、道路の拡幅や歩道の整備等の来訪者に配慮した整備を行う。また、併せて無電柱化の検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●道路改良

令和5年度は、用地買収を923.18㎡を買収済。令和3年度から用地買収を進めており、用地買収済面積は令和5年度末まで1,632.14㎡(84.2%)。また、買収済み区間の一部の工事を行った。

●道路美装化(小路整備)

令和5年度は、L=224.9mの小路整備事業を実施済。平成27年度から小路整備及び道路美装化を実施しており、総延長L=4,308.6mに対し、令和5年度までの整備済延長はL=2,889.3m(進捗率67%)。また、アスファルト舗装から景観に配慮した排水性舗装に整備した(L=224.9m)。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

さらなる津島神社や天王川公園へのアクセス向上や来訪者の回遊性を向上につながるために引き続き整備工事を実施し、整備延長を伸ばしていく。

状況を示す写真や資料等

↓道路改良事業箇所(橋詰又吉線)の平面図と標準断面図 ■ 事業箇所



↓現在の道路改良事業箇所(橋詰又吉線)



↓工事後の道路美装化箇所(片町1丁目)



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
天王川公園整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和8年度(2026)

支援事業名 都市構造再編集中支援事業

計画に記載している内容 天王川公園内にある老朽化した藤棚の改修とともに、Park-PFIにより選定した指定管理者による藤棚や景観の維持管理等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は、A=374.4㎡の藤棚改修を実施済。平成30年度から藤棚改修工事を実施しており、総面積A=3,756.0㎡に対し、令和5年度までの改修済面積はA=1,827.3㎡(進捗率48.7%)。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

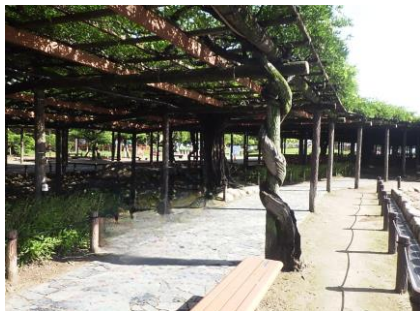
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

藤棚改修事業については、当初令和6年度までの予定であったが、工事費が確保できなかった等の理由で令和8年度まで延長することとなった。老朽化が進む藤棚の早期改修には、集中的な予算投資が必要なため、引き続き公園事業に特化した国の支援事業の活用を検討し、改修を進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



改修内容:コンクリート擬木の支柱をスチール製の柱に改修した。





評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
歴史文化遺産案内板整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和6年度(2024)

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 老朽化等した歴史文化遺産の案内板を、必要に応じた方法で整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5、6年度の2年間で30箇所を整備予定である案内板のうち、25箇所の整備を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 平成29～30年度に整備した歴史文化遺産案内板については、災害や現状変更による修繕の必要性を随時注視し、適切に対処していく必要がある。未整備の案内板については、令和5年度に25箇所の整備を実施した。令和6年度は5箇所の整備を実施予定。

状況を示す写真や資料等

整備した案内板の一例



整備前案内板



整備後案内板



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
尾張津島天王祭保存・振興事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)
支援事業名	国宝・重要文化財等保存・活用事業(民俗文化財伝承・活用等事業【尾張津島天王祭】の車楽舟行事)、市単独事業

計画に記載している内容 尾張津島天王祭の祭礼に使用される用具等を学識経験者等による修理委員会での検討のもと修理・新調するほか、車楽舟行事や祭全体の運営・保存・継承のための補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

7月22日(土)宵祭、7月23日(日)朝祭を開催し、尾張津島天王祭に参加する車楽舟5車に対し、祭運営のための支援補助を実施した。観光客数は21万人。令和5年度の修理については、筏場車宵狭間、市江車反り橋について、「国宝・重要文化財等保存・活用事業」として修理事業を実施した。

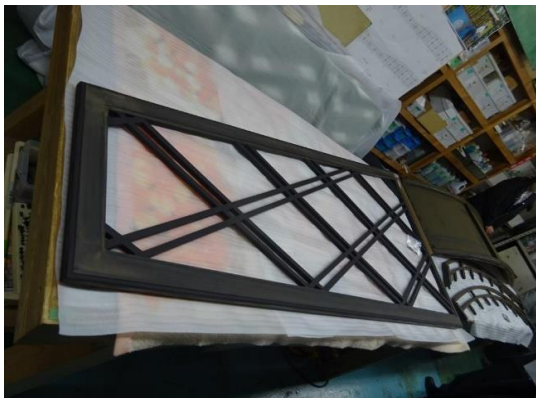
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	祭りについては、関係団体等と開催に向けての調整を図っていく。また、今後の祭礼用具修繕については、計画的に修理計画を立てる必要がある。特に大型の幕の修理方法等の検討が必要である。尾張津島天王祭車楽舟行事伝承保存委員会の中で、委員の意見を聴取しながら進めていく。

状況を示す写真や資料等

↓宵祭



↓朝祭



筏場車宵狭間(修理中の様子)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
尾張津島秋まつり保存・振興事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 学識経験者等による修理委員会での検討のもと、尾張津島秋まつりに使用される用具等を修理するほか、祭の運営や後継者育成のための補助を行う。また、秋まつりの実態を把握する調査を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

9月30日(土)、10月1日(日)に尾張津島秋まつりを開催し、まつりに参加する山車、石採祭車、神楽に対し、報償費を支払った。観光客数は4万人。保存・継承事業については、用具等の修理を予定通り実施した。また、津島秋祭(山車祭)調査については、調査委員が秋祭当日及び秋祭の準備期間に、各町内の関係者への聞き取り及び各町内から資料を収集するなど、基礎的な情報を収集することを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

祭りについては、関係団体等と開催に向けての調整を図っていく。また、保存・継承事業については、保存団体の予算の確保や担い手の確保に課題がある。団体へ新たな資金調達方法の検討を促し、地域のくくりを超えた担い手の参画を検討する。

状況を示す写真や資料等

↓山車



↓石採祭車



↓神守上町・兄弟人形の修理



↓北町・上段勾欄部の彫刻、彫刻枠修理





評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
歴史・文化学習事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 市単独事業、民間団体単独事業

計画に記載している内容 市では主に市内の小学校高学年の児童を対象に郷土の歴史や文化を学習するためのフィールドワークや祭の見学等を実施し、民間団体では大人から子供まで参加できるご当地検定を開催することで、市内外の住民に津島の歴史文化の学びの機会を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾張津島天王祭の車楽舟行事の学習事業として、7月9日(日)に、尾張津島天王祭クイズ、津島神社・興禅寺など関係地を巡るフィールドワーク、7月23日(日)に朝祭の見学、8月6日(日)に神葎刈体験、注連縄作り体験等を実施した(全体応募者:36人)。

また、津島商工会議所が主催の津島ご当地検定(「信長の台所歴史検定 津島の達人」)は、会場では行わずWEBのみで開催した(期間:2月12日(月)から3月10日(日)まで 受験者:35名)。WEBで開催したことでリピーターや遠方の方にも受験していただけた他、小学生等の若年層の参加もあり、年齢問わず認知度が高まっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 「祭りを学ぶ」は、引き続き熱中症対策などに配慮しながら、継続的な運営方法を検討していく必要がある。尾張津島天王祭についてさまざまな視点で学習テーマを設定することによって、わかりやすく伝える工夫をしていく必要がある。「津島の達人」はWEBのみの試験実施となり、全国各地から受験者を募り、市内外に津島の歴史文化・魅力を発信することが出来た。更なる周知方法を検討し、参加人数の増加につなげる。
------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

状況を示す写真や資料等

↓祭りを学ぶ(朝祭見学)



↓祭りを学ぶ(注連縄作り体験)



**第16回 信長の台所 歴史検定**  
**津島の達人** (パソコンスマホでもどこでも受験)  
 試験日 令和6年2月12日(月)～3月10日(日)

おかげさまで本年度で第16回目を迎え、受験数は1,000名を突破しました。

**WEBで試験実施!!ご自宅で気軽に受験**

- ◆『津島の達人』上級試験 試験時間:70分  
 又上級試験は3回合格すると市長表彰があります。
- ◆『津島の達人』試験 試験時間:70分  
 『尾張津島見聞録』(ジュニア版含む)、『津島の祭礼』参照可  
 (公式テキスト詳細は裏面をご覧ください。)

【両試験共通事項】  
 出題内容:津島の歴史・文化・祭礼、その他関連するもの全般 全50問  
 受験料 ¥1,000円(税込)  
 申込期間:令和6年1月15日(月)～2月29日(木)  
 解答期間:令和6年2月12日(月)～3月10日(日)  
 申込受付:公式HP(津島商工会議所内リンク) 下記アドレスまたはQRコードから参加ください。  
 受験方法:①公式HP申込ページよりログイン登録  
 ②ログイン情報およびパスワードを設定  
 ③受験料を入金後(振込または持参)、解答期間において専用HPよりログインして受験  
 受験料納付:指定口座に振込または津島商工会議所に持参  
 合格特典と合格証 及び「つるしもん」(達人)、天下無敵やぐら(上級) 詳細は津島の達人HP (https://tatsujin.jimdofree.com/) をご覧ください。  
 \*パソコン操作等に不安がある方は、商工会議所で受験するなど個別にサポートさせていただきますので、お気軽にお問い合わせください!!

今回の上級試験を受験された方全員に、原啓夫作 **織田信長をモデルとした「いくさの子」タオル**をプレゼント!!

申込に関するお問い合わせ 津島商工会議所 〒496-8508 津島市立込町4-1-4-4  
 TEL 0667-29-2900 FAX 0667-24-2906 津島の達人HP (https://tatsujin.jimdofree.com/)  
 ■会場:津島地区会館 ■主催:信長の台所歴史検定『津島の達人』実行委員会  
 ■協賛:一般社団法人津島法人会津島支部、NPO法人まちづくり津島、クローバーTV  
 ■協賛:津島市、津島市教育委員会、一般社団法人津島市観光協会、一般社団法人海陸津島青年会議所、津島ロータリークラブ、愛西市工芸会、あま市工芸会、笠江町工芸会、大谷町工芸会、飛騨村工芸会 2023年度津島地区歴史検定実行委員会

←ご当地検定のチラシ

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
茶の湯文化振興事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 毎年秋に津島市文化会館で行われる「津島市文化祭」の協賛事業等において、市民が茶道等を披露する場を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津島市文化祭の協賛行事として10月22日(日)に津島市文化会館小ホールにて「茶華道展」を実施(参加人数:500人)。津島市観光交流センターの抹茶体験については、予約制で実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「茶華道展」は大人数での飲食が伴い、コロナ禍での開催が困難であったが、今年度より茶器を消毒等対応し再開をした。また、並行して津島市観光交流センターの抹茶体験のような少人数で楽しめる事業を継続的に実施し、当市の茶の湯文化を伝えていきたい。

状況を示す写真や資料等



令和5年度「茶華道展」



項目	評価対象年度	令和5年度
津島の歴史・文化魅力発信事業①		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 市単独事業、都市構造再編集集中支援事業

計画に記載している内容 ガイドボランティアや津島おもてなしコンシェルジュ等による津島のまち歩きやパンフレットの作成、市ホームページにより市固有の祭や文化財、町並みの魅力を発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津島市のPRや観光客の増加を図るために、観光パンフレットの代わりとなる名刺サイズの観光カードを作成し、専用ラックとともに名鉄津島駅や津島神社、木曾三川公園等に設置した。  
東海三県の全市町村の中で、津島市の寺密度がナンバーワンであることを活かし、津島の祭りをテーマとした御朱印集めのイベント「津島てら・まち御縁結び」を2回開催した(参加延べ人数:684名)。  
また、令和5年9月に名古屋市栄地下街にオープンした、独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)が管理する情報交流施設「まちなかね」で津島市シティプロモーションイベントを2回開催し、当市の祭りや特産品等のPRを行った(期間:11月20日(月)～27日(月)、2月27日(火)～3月4日(月))(来場延べ人数:39,787名(※))  
※来場延べ人数は会場のAIカメラにて測定しているため、会場スタッフ等関係者も測定に含まれる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

今年度、関係団体と連携し開催したシティプロモーションイベントのように、新たなPR方法について引き続き模索しながら、関係団体等と連携を図り、市の魅力発信を行っていく。

状況を示す写真や資料等

↓観光カードと専用ラック



↓御朱印集めのイベントチラシ



シティプロモーションイベント

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
津島の歴史・文化魅力発信事業②	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)  
 支援事業名 市単独事業、都市構造再編集中支援事業

計画に記載している内容 ガイドボランティアや津島おもてなしコンシェルジュ等による津島のまち歩きやパンフレットの作成、市ホームページにより市固有の祭や文化財、町並みの魅力を発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

当市への来訪者の増加及び消費促進を図ることを目的に、名鉄津島駅までの往復割引乗車券、市内のお店で使用できるクーポン券等がセットになったお得な企画きっぷを販売する「つしまちあるきキャンペーン」を実施した(期間:9月2日(土)～12月24日(日)、きっぷ発売枚数:約1,100枚)  
 今回のキャンペーンでは、NHKで徳川家康を主人公とする大河ドラマ「どうする家康」が放送されたことに伴い、当市でもゆかりのある武将をPRするために実施した「beyond家康～舞台はあいち・つしまPR大作戦～」とコラボレーションして実施した。武将にちなんで、お店での期間限定スイーツ販売や寺社での絵付き御朱印頒布の他、「津島ゆかりの武将展」やガイドボランティアを活用して「武将ゆかりの地を巡ろう」等の企画も開催し、当市の魅力発信及び来訪者の増加につなげることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない



鉄道会社と連携を図りながら、津島市を訪れたいと思えるような内容及びコンテンツを企画し、市の魅力向上及び誘客促進につなげていきたい。

状況を示す写真や資料等

↓つしまちあるきキャンペーンリーフレット





評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
津島の歴史・文化魅力発信事業③		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)		
支援事業名	市単独事業、都市構造再編集中心支援事業		
計画に記載している内容	ガイドボランティアや津島おもてなしコンシェルジュ等による津島のまち歩きやパンフレットの作成、市ホームページにより市固有の祭や文化財、町並みの魅力を発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
津島ガイドボランティアが4月16日(日)、5月20日(土)、6月18日(日)に津島の歴史文化を学び、実際に市内を歩き行う「ガイドボランティアと学ぼう津島」を実施し、3日間で21名の参加があった。また、7月22日(土)に開催された尾張津島天王祭おもてなしイベントにおいて、天王祭を紹介する「ちょこっと天王祭展」を津島おもてなしコンシェルジュが企画・運営に協力し開催し、尾張津島天王祭おもてなしイベント全体として約6,000人の参加があった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	関係団体等との調整を図っていく。		
状況を示す写真や資料等			
↓ガイドボランティアと学ぼう津島		↓尾張津島天王祭おもてなしイベント「ちょこっと天王祭展」	
			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
毛織物産業の普及促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 津島市・津島毛織工業組合連携事業

計画に記載している内容 愛知県や日本毛織物等工業組合などと連携しながら、市内の毛織物産業企業に対し、販路の開拓・拡大の支援や後継者育成のための研修、そのほか必要に応じた企業支援を行う。  
また、市が実施する放課後子ども教室において、毛織物を学ぶための事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津島駅ビルテナントを休憩スペースとして利用し、休憩を取りながらも、津島の毛織物の歴史や文化に触れてもらうために、毛織物の展示を実施した。10月28日(土)と29日(日)に開催した津島駅前社会実験「えぎまえVIP」に併せて実施し、社会実験の2週間程前から常設で展示を開始し、当日には、展示だけではなく実際に機織機が稼働している様子を映像で流した。また、市と津島毛織工業組合が連携し、放課後子ども教室において毛織物学習プログラムを実施した(2教室で計3回)。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	駅構内の休憩スペースに常設展示したため、休憩スペースの利用者に見て頂くことができた。また、放課後子ども教室における毛織物学習プログラムについては、今後も継続実施のため津島毛織工業組合と調整を行う必要がある。
------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

状況を示す写真や資料等

↓津島駅構内で開催した毛織物の展示



放課後子ども教室での毛織物学習プログラム



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 指定等文化財の適正な保存・管理を図るとともに、市に所在する未指定文化財についても、調査等を通して文化財の価値を判断し、必要に応じて指定等といった保護措置を講じ、保存活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定文化財については、所有者や管理者等による適切な管理ができるよう指導・助言・情報提供を実施した。それにより、修理や保管が適切に行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

文化財の日常管理は所有者に委ねられる部分が多く、所有者が次代へと継承された場合、文化財の価値や適切な管理を行うための知識までも継承されるとは限らないため、所有者の情報を把握し、適切に指導・助言・情報提供を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

- 指導 修理方法(12件)
- 助言 保管方法(1件)
- 情報提供  
補助金情報(2件)  
事業参加案内(2件)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の防犯・防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の所有者や管理者等に対する防災・防犯面での知識の向上や啓発活動、日ごろの確認や文化財防火デーにおける消防訓練等の実施に取り組む。また、自動火災報知機や消防設備の適切な維持管理の指導・助言を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧堀田家住宅及び氷室作太夫家住居については9月11日(月)と3月6日(水)に消防訓練を実施した。文化財防火デーについては、津島神社にて消防本部と連携した消防訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない
 継続的な消防訓練や消防設備の点検及び修理が必要である。

状況を示す写真や資料等



旧堀田家住宅での消防訓練



氷室作太夫家住居での消防訓練



←津島神社での文化財防火デーに合わせた消防訓練

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	市内外に所在する文化財について、市内外の方に広く知ってもらうため、市内文化財の情報発信ができるWebサイト(「デジタル博物館」等)の運営や、市立図書館等にて行われる歴史講座などの文化財に関する各種講座、旧堀田家住宅における展示や公開を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧堀田家住宅においては「近代津島の芸術家展」、「天王祭デザイン展」、「ひなまつり展」などの展示を行い、旧堀田家住宅に足を運んでもらう機会を設けた。また、ホームページ「津島市の歴史・文化遺産」の運営を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市が管理するホームページ以外に、まつりやまち歩き等のイベントを通じて文化財の普及・啓発を行うことも有効であるため、関係部署間で連携しながら、文化財のPR方法について検討していく。		
状況を示す写真や資料等			



「近代津島の芸術家展」



「天王祭デザイン展」



「ひなまつり展」



報道等タイトル		年月日	掲載紙等
津島ですから 4年ぶり「まつり」		令和5年4月14日	中日新聞
いちい信金旧支店まちづくり活用へ 津島市に寄贈		令和5年6月10日	中日新聞
水面進む鮮やかな光 尾張津島天王祭		令和5年7月23日	中日新聞
本殿や楼門 一斉に放水 津島神社消防訓練		令和6年1月27日	中日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新聞記者への積極的な情報提供により、市の事業だけでなく関係団体等の活動も報道してもらうことができた。新聞報道されることで、多くの人に周知・PRすることができたとともに、市の歴史や文化、まちづくりへの関心の向上に寄与することができたと考える。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	例年行っているイベントでも新たな工夫やテーマを設定したり、これまでにない取組を行う等、新しい情報を提供し、新聞記者に記事として取り上げてもらえるよう仕掛けていきたい。

状況を示す写真や資料等

↓令和5年4月14日 中日新聞



↓令和5年6月10日 中日新聞



↓令和5年7月23日 中日新聞



↓令和6年1月27日 中日新聞





評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

観光客入込客数の動向

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことに伴い、尾張津島天王祭や尾張津島秋まつりが通常開催されたことで、多くの観光客が訪れた。また、津島神社の初詣などの参拝者数の回復や尾張津島藤まつりの開催により、年間を通じて前年より観光客入込客数は増加した。

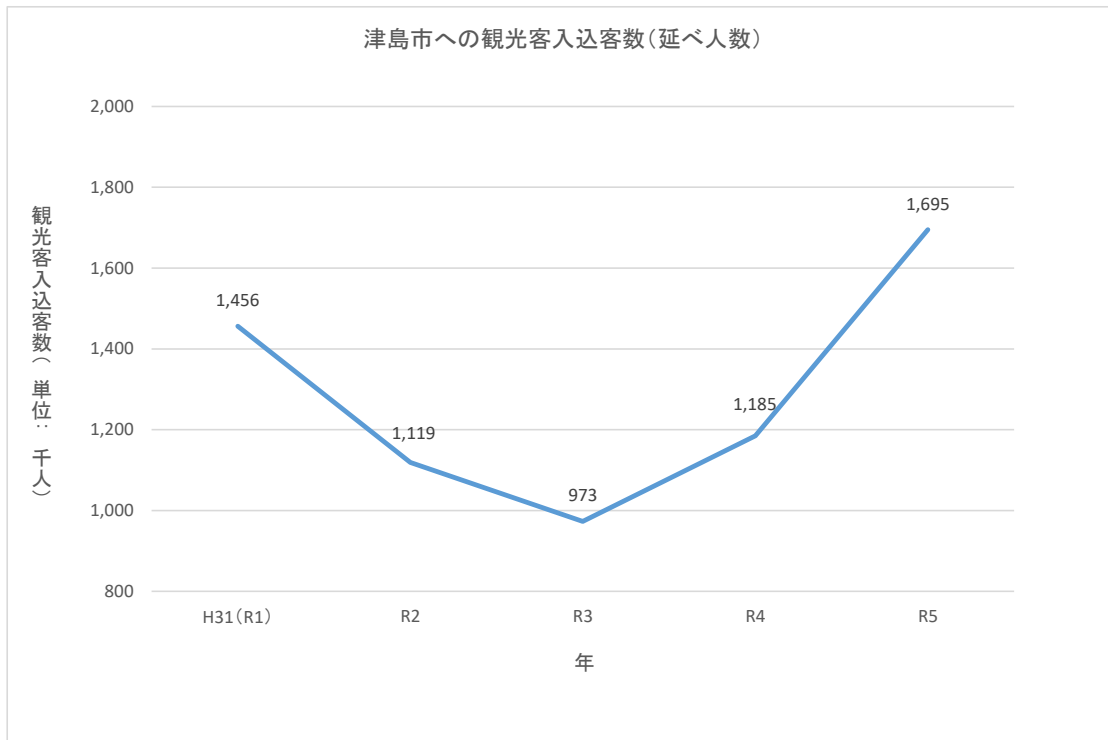
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

新型コロナウイルス感染症の5類感染症に移行後、国内ではインバウンドが驚異的な回復傾向にある。当市においても、観光資源を十分に生かしながら、インバウンド向けの情報発信や通年で近隣県市から誘客する取り組みの検討が必要である。

状況を示す写真や資料等



※藤まつり、天王祭、秋まつり、津島神社、尾張津島観光センター、津島市観光交流センターの入込客数の合計に、百の位を四捨五入した数字

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 津島市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和6年4月23日 14時～	
(コメントの概要)	
<p>●良好な景観に資する施策との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津島市が令和5年度に景観行政団体になったという話を聞いて安心した。歴まち計画と景観計画は、制度設計上両輪で進めていくことが望ましい。</li> <li>・景観計画と景観形成基準を策定すると、比較的制限が緩やかな一般地区と制限が厳しい重点地区を設けていくことになる。歴まちの重点区域は広く、区域内のエリアによってそれぞれ建物の特徴が異なる。複数の候補地区を洗い出し、候補地区ごとに現状の町並み調査を実施した上で、景観形成基準を設定していくことになる。</li> <li>・重点地区指定の部分に、歴まち計画の本題がある。津島市内には町家建築が多くあるため、このような貴重な建物をどう残していくかが鍵である。</li> <li>・景観計画の策定にあたっては、住民向けのワークショップを引き続き開催することで、幅広く意見を聞きながら進めてほしい。</li> <li>・津島の町家景観や、昭和初期に開通した天王通りの商店街景観が崩れないうちに、景観計画を策定していただき、良好な景観を図るための方策を考えていただきたい。</li> </ul>	
<p>●尾張津島天王祭保存・振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りの運営に際しては、担い手の確保が大きな課題である。町内だけで解決することは難しい。担い手を確保するにあたっては、もう少し広い範囲で考える必要があるのではないかと考える。</li> </ul>	
<p>●津島の歴史・文化魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施にあたっては、単独ではなく他のイベント等と重ねて行うともっと相乗効果が期待できると思う。</li> </ul>	
<p>●文化財の保存・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴まち計画を策定したはいいが、町家がなくなつてはあまり意味がない。数年前に市内の歴史がある町家が取り壊されて、非常に残念であった。民間所有ということだけで片付けられてしまうと、なかなかうまくいかない。歴まち計画等は、20年、30年後の津島の未来のことを考えてやっている。景観重要建造物があらかじめ分かっているのであれば、所有者の方に先に働きかけるべきではないかと思う。</li> </ul>	
<p>●文化財の普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津島市は文化財が多くある。未だ文化財指定されていないものも多く見受けられるため、ピックアップをし、市民や観光客にアピールしてほしい。</li> </ul>	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画の策定にあたっては、市内のエリアごとにそれぞれの特色があるため、そのあたりの景観要素もしっかりと受け止め、住民と意志疎通を図りながら、津島市らしい景観を作っていく。</li> <li>・歴まち計画と景観計画をうまく組み合わせ、活用と規制の両輪で、津島市らしいまちづくりに取り組んでいく。</li> <li>・津島の歴史文化の魅力発信については、庁内や関係団体と連携を図りながら、効率的及び効果的な魅力発信を行っていききたい。</li> <li>・文化財の保存活用及び普及啓発については、コメントを参考に具体的な取組が実施できるよう検討する。</li> <li>・祭りに関しては、文化の継承や担い手の育成が大きな課題である。学識経験者や関係団体と引き続き協議しながら、今後の方針を検討していく。</li> </ul>	